

# 日本泌尿器科学会第 94 回宮崎地方会

第 46 回宮崎大学医学部泌尿器科学教室開講記念会

## プログラム・抄録集

日 時 令和 5 年 1 月 21 日 (土) 午後 1 時 30 分～

会 場 ホテル JAL シティ宮崎  
2 階「オルソ」  
宮崎市橘通西 4-2-30 (TEL 0985-25-2580)

参加費 3,000 円

会 長 賀本敏行 (宮崎大学医学部泌尿器科 教授)

日本泌尿器科学会第 94 回宮崎地方会事務局

宮崎大学医学部泌尿器科

〒889-1601 宮崎市清武町木原 5200

TEL 0985-85-2968

FAX 0985-85-6958

～プログラム～

13:30～14:19 一般演題(1)

座長 向井尚一郎(宮崎大学)

- 1 宮崎大学医学部泌尿器科教室における2022年の臨床統計  
○宮元耀嗣 川添智浩 木村翔一 永田靖久 伊藤歌織 中原智子 秋岡貴弘  
村嶋隆哉 中原 梢 藤井将人 山崎浩司 永井崇敬 高森大樹 上村敏雄  
向井尚一郎 賀本敏行(宮崎大学)  
寺田直樹(福井大学)  
白川達也(県立日南病院)  
小島慎平(潤和会記念病院)
- 2 若年者に発生した巨大副腎皮質癌の一例  
○三好 諒 鮫島 立 堀 幹史 黒岩顕太郎(宮崎県立宮崎病院)  
阿萬 紫 丸塚浩助(同 病理診断科)
- 3 ソラフェニブを14年間継続投与中の肺転移を伴う腎がんの1例  
○石塚 修 小佐野義弘 井上貴浩 小川典之(信州大学)
- 4 転移性腎癌に対しIpilimumab・Nivolumab併用療法およびロボット支援腎部分切除術を行いsurgical CRを得た一例  
○井口 亮 可見直哉 田中 亘 宮川拓朗 山口貴大 羽間悠祐 杉山恭平  
寺井章人 井上幸治(倉敷中央病院)
- 5 腎癌に対するアベルマブ治療中に赤芽球癆を発症した一例  
○原口裕介 上田翔平 後藤駿介 木下史生 松元 崇 李 賢 門司恵介  
柏木英志 塩田真己 猪口淳一 江藤正俊  
(九州大学病院 泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科)  
宮脇恒太(同 第一内科)
- 6 当院における腎部分切除術の臨床的検討  
○近松惣太郎 岩淵直人(中津市立中津市民病院)  
原田修治(社会医療法人財団池友会新行橋病院)
- 7 T1b以上の腎腫瘍に対する腹腔鏡下腎部分切除術の経験  
○小堀 豪 荒木博賢 清水浩介 諸井誠司(浜松ろうさい病院)

14:19～15:08 一般演題(2)

座長 高森大樹(宮崎大学)

- 8 尿管に発生した葉状腫瘍の1例  
○小佐野義弘 塩崎政史 井上貴浩 上野 学 石塚 修(信州大学)
- 9 当院におけるロボット支援左腎尿管摘除術、膀胱カフ切除の一例  
○新村真司 鎌先晋平 伊波 恵 池原 在 松元 貢 新村友季子  
(にいむら病院)
- 10 PDD補助下TURBT～副作用およびその対策についての検討  
○清水 崇 笹尾拓己 松谷 亮 加藤祐司 坂 丈敏(坂泌尿器科病院)  
山崎清仁(坂泌尿器科 千歳クリニック)  
和田英樹(新川クリニック)  
池田龍介(坂泌尿器科 北広島クリニック)
- 11 膀胱破裂を起こした膀胱癌にLRCを施行した1例  
○慶田喜文 才田幸一郎 宮内大知 山崎丈嗣  
(独立行政法人国立病院機構都城医療センター)
- 12 高齢者の非転移性筋層浸潤性膀胱癌に対する根治的膀胱全摘除術と非治療群における予後の比較  
○大塚 武 前田幸志郎 竹原俊幸(おがわクリニック)
- 13 尿管結石による尿溢流を契機に発症した腎周囲膿瘍の一例  
○山崎丈嗣 才田幸一郎 宮内大知 慶田喜文  
(独立行政法人国立病院機構都城医療センター)
- 14 尿路上皮癌に対し集学的治療でCRを得られたLynch症候群の一例  
○白川達也 長野正史(藤元総合病院)  
村嶋隆哉(宮崎大学)  
植野 堯(野崎東病院)  
三宅那央(古賀総合病院)

— Coffee Break —

15:30～16:12 一般演題(3)

座長 黒岩顕太郎(宮崎県立宮崎病院)

- 15 鑑別を要した尿管腫瘍の一例  
○井上貴浩 小佐野義弘 小川典之 小川輝之 石塚 修(信州大学)
- 16 限局性前立腺癌放射線外照射治療後に陰茎転移を来した一例  
○志賀健一郎 岡部彩美 永川祥平 眞崎拓朗 横溝 晃(原三信病院)
- 17 去勢抵抗性前立腺癌患者に対してがんゲノムプロファイル検査からシスプラチンを投与した一症例  
○松下良介 吉野裕史 井口智生 古屋敷和歌子 榎木康人 井上 歩 鑑野秀一 榎田英樹(鹿児島大学)
- 18 小細胞癌化したmCSPCの1例  
○石川裕隆 山下康洋 木村友哉(県立延岡病院)
- 19 当院における去勢抵抗性前立腺癌に対するカバジタキセルの治療成績  
○木田和貴 貴島淳博 古森広輝 城戸啓伍 重松有沙 白石航一 阿部立郎 田中祥子 相島真奈美 眞崎拓朗 志賀健一郎 宮崎 薫 武井実根雄 内藤誠二 横溝 晃(原三信病院)
- 20 vessel-sparing augmented BMG onlay を施行した振子部尿道狭窄の1例  
○井手迫俊彦 富永充彦 斎藤朗毅 川越真理(済生会川内病院泌尿器科・小児泌尿器科)

16:12～17:01 一般演題(4)

座長 山崎 丈嗣(国立病院機構都城医療センター)

- 21 異所性精巣が疑われたが隆起性皮膚線維肉腫であった一例  
○清田明日香 脊川卓也 倉橋竜磨 元島崇信 村上洋嗣 矢津田旬二 杉山 豊 神波大己(熊本大学)
- 22 救済化学療法施行し完全奏功を得られているStage III B 精巣癌の一例  
○分田裕順 南口尚紀(千代田病院) 寺田直樹(福井大学) 賀本敏行(宮崎大学)
- 23 当院における持続還流式腎用アクセスシース(Clear Petra System®)を用いたECIRSの経験  
○植野 堯 岩本秀安 小林隆彦(野崎東病院)
- 24 難治性過活動膀胱に対する当院でのボトックス治療  
○小島慎平 藤田直子 月野浩昌(潤和会記念病院)
- 25 自然消退した膀胱隆起性病変の一例  
○鬼塚千衣 藤崎友基也(宮崎県立日南病院) 木村翔一(宮崎大学)
- 26 癌が疑われたが自然消失した膀胱腫瘍の一例  
○眞崎拓朗 志賀健一郎 横溝 晃 山口秋人(原三信病院) 池之上 俊(現;福岡県済生会八幡総合病院泌尿器科)
- 27 中村病院における性感染症の検討  
○酒本貞昭 松原孝典 高橋 剛(中村病院) 野村威雄(新別府病院)

17:30～18:30 (予定) ハイブリッド形式  
宮崎泌尿器セミナー (武田薬品工業株式会社 共催)

座長 宮崎大学医学部発達泌尿生殖医学講座 泌尿器科学分野  
教授 賀本 敏行 先生

「治療モダリティが変遷する今、考えるべき腎がん治療」

東海大学 医学部外科学系腎泌尿器科学  
教授 宮嶋 哲 先生



宮崎大学  
UNIVERSITY OF MIYAZAKI

DEPARTMENT OF UROLOGY  
FACULTY OF MEDICINE  
UNIVERSITY OF MIYAZAKI  
5200 KIHARA, KIYOTAKE,  
MIYAZAKI 889-1692, JAPAN  
TEL : + 81- 985- 85- 2968  
FAX : + 81- 985- 85- 6958

〒889-1692 宮崎市清武町木原 5200 宮崎大学医学部 発達泌尿生殖医学講座 泌尿器科学分野

### <抄録修正のお願い>

一般演題 (4) 演題番号 22 番の抄録に一部修正がございました。以下の通りでお願い致します。

22 救済化学療法施行し完全奏功を得られている StageⅢB 精巣癌の一例

○分田 裕順 南口 尚紀 (千代田病院)

寺田 直樹 (福井大学)

賀本 敏行 (宮崎大学)

【症例】~~36歳~~ ⇒ 46歳 BMI27 12月より右陰嚢腫大にて近医受診、抗菌薬投与にて症状一時軽快。1月右陰嚢腫大あり当院受診、USにて精巣腫瘍、CTにて多発リンパ節/多発肺転移、腫瘍マーカー上昇認めた。1/26高位精巣摘除術施行、embryonal carcinoma, pT2であった。【経過】2/6～EP療法1コース、VIP療法3コース施行、肺/リンパ節転移縮小し腫瘍マーカー陰性化した。肺転移巣に手術検討するも部位的に低侵襲での手術は困難、救済化学療法選択した。5/16よりIrN2コース施行、5年以上経過するが、再発なく経過観察中である。【考察】精巣癌にしては高齢で、ヘビースモーカー、転移巣が大きく治療に難渋した。化学療法の反応良好で、導入化学療法でリンパ節転移消失、後腹膜リンパ節郭清を回避できた。肺転移巣の残存に対し救済化学療法を選択しCRとなり長期生存が得られた。